



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年11月7日
上場取引所 東

上場会社名 イーグル工業株式会社
コード番号 6486 URL http://www.ekk.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鶴 鉄二
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経本部長 (氏名) 池田 澄男 TEL 03-3438-2291
四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日 配当支払開始予定日 平成25年12月3日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	58,744	22.6	5,675	97.9	6,880	165.0	3,740	163.8
25年3月期第2四半期	47,912	1.4	2,867	△0.1	2,596	△14.1	1,417	11.0

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 6,839百万円 (-%) 25年3月期第2四半期 △226百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	77.64	—
25年3月期第2四半期	29.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	131,590	59,190	39.8	1,085.32
25年3月期	122,658	52,541	37.3	950.42

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 52,313百万円 25年3月期 45,759百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
26年3月期	—	7.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	120,000	16.7	10,300	35.9	12,200	36.6	7,000	55.5	145.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期2Q	49,757,821株	25年3月期	49,757,821株
26年3月期2Q	1,556,597株	25年3月期	1,611,103株
26年3月期2Q	48,174,243株	25年3月期2Q	47,965,467株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は（添付資料）P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）における世界経済情勢は、米国においては従来からの量的緩和策の効果により緩やかな景気回復傾向が持続しました。欧州では域内財政・金融安定化に向けた諸施策の結果、市場に落ち着きが戻りましたが实体经济はまだ予断を許さない状況が続いています。また、中国、インドを初めとするアジアの新興市場では緊縮政策の導入による国内消費・設備投資の減退や海外からの投資減速等で景気への不透明感が増す状況となりました。一方、日本の経済状況は積極的な金融緩和政策による円高の修正、金利上昇抑制により企業業績に好転の兆しが見えるようになりました。

当社を取り巻く事業環境は、中国、インド等新興市場での景気減速の影響を受けつつも、自動車関連向け製品販売の堅調な推移、船用業界向け製品の補修向け需要の回復等が見られました。併せて円高の修正による採算好転も寄与し、売上・利益共に増加することになりました。また前々期から継続し取り組んでおります3カ年計画（『持続性ある成長への基礎固め』－10年後の繁栄を期して）のもと、グローバルな生産体制の構築、コスト削減の推進を行った結果、収益力がいっそう強化されました。

その結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の連結売上高は587億44百万円（前年同期比22.6%増）、連結営業利益は56億75百万円（前年同期比97.9%増）、連結経常利益は68億80百万円（前年同期比165.0%増）、連結四半期純利益は37億40百万円（前年同期比163.8%増）となりました。

セグメント別の事業状況は次の通りであります。

[自動車・建設機械業界向け事業]

自動車及び建設機械業界向け製品は、アジアパシフィック地区の一部の国で伸び悩みが見られましたが、自動車業界向けが国内を始め、欧州・米国・中国共に堅調に推移した事に加え、アキュムレータ・住宅設備製品も販売に寄与した事から、当セグメントの連結売上高は367億48百万円（前年同期比34.8%増）、連結営業利益は33億33百万円（前年同期比159.5%増）となりました。

[一般産業機械業界向け事業]

一般産業機械業界向け製品は、国内の石油化学関連業界向けやインド市場の低迷はありましたが、国内の電力向け製品の増加や半導体関連製品の回復を受け、当セグメントの連結売上高は147億88百万円（前年同期比13.1%増）、連結営業利益は14億90百万円（前年同期比50.1%増）となりました。

[船用業界向け事業]

船用業界向け製品は、新造船建造量の減少が続く一方で、国内外で部品交換需要が回復し、当セグメントの連結売上高は51億35百万円（前年同期比0.2%減）、連結営業利益は9億2百万円（前年同期比64.0%増）となりました。

[航空宇宙業界向け事業]

航空宇宙業界向け製品は、航空機エンジン用製品及び周辺機器製品が低調であった事により、当セグメントの連結売上高は20億71百万円（前年同期比14.7%減）、連結営業損失は70百万円（前年同期は営業利益29百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

[資産]

当第2四半期連結会計期間末の資産は1,315億90百万円となり、前連結会計年度末に比べ89億31百万円増加いたしました。これは主として投資有価証券の増加47億円、現金の増加36億38百万円、有形固定資産の増加5億87百万円によるものであります。

[負債]

当第2四半期連結会計期間末の負債は724億円となり、前連結会計年度末に比べ22億82百万円増加いたしました。これは主として借入金の増加17億46百万円、賞与引当金の増加4億31百万円によるものであります。

[純資産]

当第2四半期連結会計期間末の純資産は591億90百万円となり、前連結会計年度末に比べ66億48百万円増加いたしました。これは主として利益剰余金の増加35億72百万円、為替換算調整勘定の増加28億53百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ、連結売上高1,200億円、営業利益103億円、経常利益122億円、当期純利益70億円に修正しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結累計期間において、連結又は持分法適用の範囲の重要な変更はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,944	17,583
受取手形及び売掛金	27,996	28,231
商品及び製品	5,013	4,327
仕掛品	6,665	7,254
原材料及び貯蔵品	3,880	4,305
その他	4,769	4,726
貸倒引当金	△238	△173
流動資産合計	62,031	66,256
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,763	13,855
機械装置及び運搬具（純額）	13,249	12,823
その他（純額）	9,645	9,566
有形固定資産合計	35,658	36,246
無形固定資産		
のれん	5,525	5,270
その他	891	1,289
無形固定資産合計	6,417	6,560
投資その他の資産		
投資有価証券	12,393	17,093
その他	6,412	5,699
貸倒引当金	△254	△265
投資その他の資産合計	18,551	22,527
固定資産合計	60,627	65,334
資産合計	122,658	131,590

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,603	6,819
短期借入金	14,284	14,121
未払法人税等	2,148	1,960
賞与引当金	1,993	2,425
その他の引当金	96	133
その他	15,754	15,524
流動負債合計	40,881	40,984
固定負債		
長期借入金	19,968	21,877
退職給付引当金	7,945	8,011
役員退職慰労引当金	122	149
その他	1,200	1,377
固定負債合計	29,235	31,415
負債合計	70,117	72,400
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,490	10,490
資本剰余金	11,461	11,475
利益剰余金	27,767	31,340
自己株式	△986	△969
株主資本合計	48,733	52,336
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	223	321
為替換算調整勘定	△3,197	△344
その他の包括利益累計額合計	△2,973	△23
少数株主持分	6,781	6,876
純資産合計	52,541	59,190
負債純資産合計	122,658	131,590

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	47,912	58,744
売上原価	37,052	44,019
売上総利益	10,860	14,725
販売費及び一般管理費	7,992	9,049
営業利益	2,867	5,675
営業外収益		
受取利息	64	73
受取配当金	25	56
持分法による投資利益	311	839
為替差益	—	478
その他	341	241
営業外収益合計	742	1,689
営業外費用		
支払利息	356	325
為替差損	427	—
寄付金	103	106
その他	125	52
営業外費用合計	1,013	484
経常利益	2,596	6,880
特別利益		
固定資産売却益	6	39
その他	5	8
特別利益合計	12	47
特別損失		
固定資産売却損	8	3
固定資産除却損	39	28
事業再編損	28	—
その他	24	0
特別損失合計	100	32
税金等調整前四半期純利益	2,508	6,895
法人税等	675	2,698
少数株主損益調整前四半期純利益	1,832	4,196
少数株主利益	415	456
四半期純利益	1,417	3,740

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,832	4,196
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△37	89
為替換算調整勘定	△1,987	665
持分法適用会社に対する持分相当額	△34	1,887
その他の包括利益合計	△2,059	2,642
四半期包括利益	△226	6,839
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△369	6,690
少数株主に係る四半期包括利益	142	148

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	自動車・ 建設機械業 界向け事業	一般産業 機械業界 向け事業	船用業界 向け事業	航空宇宙 業界向け 事業	合計	調整額	四半期連 結損益計算 書計上額
売上高							
外部顧客への売上高	27,256	13,080	5,145	2,429	47,912	—	47,912
セグメント間の内部売上高 又は振替高	125	83	9	—	219	△219	—
計	27,382	13,164	5,155	2,429	48,131	△219	47,912
セグメント利益	1,284	993	550	29	2,857	9	2,867

(注) 1. セグメント利益の調整額9百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

② 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	自動車・ 建設機械業 界向け事業	一般産業 機械業界 向け事業	船用業界 向け事業	航空宇宙 業界向け 事業	合計	調整額	四半期連 結損益計算 書計上額
売上高							
外部顧客への売上高	36,748	14,788	5,135	2,071	58,744	—	58,744
セグメント間の内部売上高 又は振替高	150	81	4	—	236	△236	—
計	36,898	14,870	5,140	2,071	58,980	△236	58,744
セグメント利益又は損失（△）	3,333	1,490	902	△70	5,656	19	5,675

（注） 1. セグメント利益又は損失の調整額19百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

② 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

③ 報告セグメントの変更等に関する事項

（事業セグメントの利益又は損失の測定方法の変更）

第1四半期連結会計期間より、各セグメントの経営成績の実態をよりの確に把握することを目的に、のれん償却額を各セグメント利益又は損失の額の算定に含める方法に変更しております。

当該変更により、当第2四半期連結累計期間の「自動車・建設機械業界向け事業」において1億89百万円、「一般産業機械業界向け事業」において1億11百万円、「船用業界向け事業」において96百万円、「航空宇宙業界向け事業」において6百万円、それぞれセグメント利益が減少又は損失が増加し、調整額が4億3百万円増加しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、上記変更後の利益の測定方法により作成したものを開示しております。